

STIEBEL ELTRON

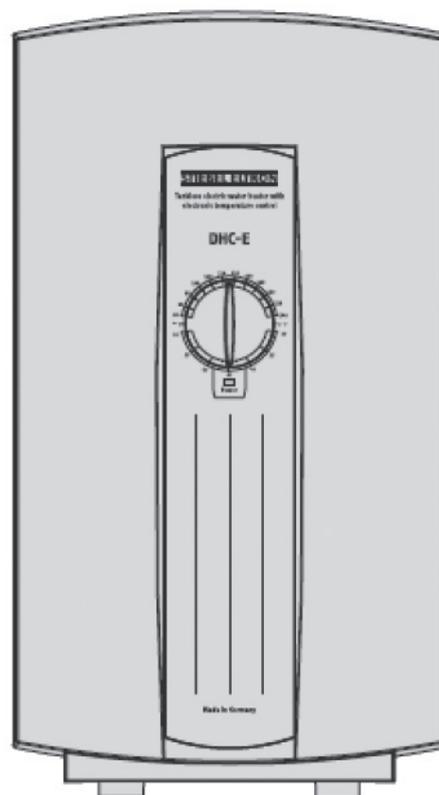
瞬間式電気温水器

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型名…… ●DHC-E5

●DHC-E6



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ご使用前にP. 1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。

●この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

●取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 各部のなまえと機器の特長	3
2-1. 各部のなまえ	3
2-2. 機器の特長	3
3. 運転のしかた	4
3-1. 機器を使用する前に	4
3-2. 機器の操作方法	4
3-3. 長期間使用しない場合	4
4. 日常の点検とお手入れ	5
5. 故障かな?と思ったら	5
6. 点検及び修理について	6
7. 仕様	7

●取付説明書

1. 安全上のご注意	9
2. 各部のなまえ	12
3. 部品の確認	13
4. 機器設置前の準備	13
5. 機器の設置	14
5-1. 機器の固定	14
5-2. 配線の接続	14
6. 試運転の手順	15
保証書	17

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造しないでください。
-  前面パネルを外さないでください。
-  機器に取り付けられている配管は、絶対に取り外さないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器を運転中、運転後は、給湯接続口や、給湯配管が熱くなっているので触らないでください。また、子供が近寄らないようにしてください。
-  機器の近くで、油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。
-  機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。(離隔距離は、壁紙や棚等の品質を保証する距離ではありません。)

	前面	上面	左面	右面	下面
離隔距離	500mm以上	130mm以上	130mm以上	130mm以上	150mm以上

注意

-  使い始めや、出湯時に瞬間的に熱湯が出る場合があります。

！ 指示

- ！ 機器に異常が発生した場合は、機器のブレーカを「切」(OFF)にしてから日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
- ！ アース工事、漏電遮断機設置工事が適正に行なわれていることを確かめてください。
- ！ 漏電遮断機が働いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
- ！ 機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。
- ！ 機器は、必ず定期的に点検(P. 5「5. 日常の点検とお手入れ」参照)をしてください。
- ！ 震災等で万が一落下した場合は、下記の項目を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
 - ①専用ブレーカを「切」(OFF)にしてください。
 - ②建物が揺れている間や、機器が傾いている間は機器に近づかないでください。
 - ③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。
 - ④水道の元栓を止めてください。
- ！ 子供や身体に障害がある人が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

！ 注意

⊘ 禁止

- ⊘ 機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
- ⊘ 飲用はしないでください。
- ⊘ 給湯中、またはその直後は、配管部分が高温になっておりますので直接触れないでください。
- ⊘ 給水の元栓を閉めた状態では、専用ブレーカを「入」(ON)にはしないでください。

！ 指示

- ！ 機器を覆うようなものを設置しないでください。
- ！ 長期間使用しない場合や、凍結の恐れがある場合は、事前に水抜きをしてください。
- ！ 断水直後等で給水が濁っている間は、使用を控えてください。
- ！ 給水温度は、55℃未満としてください。
- ！ 機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。



本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。



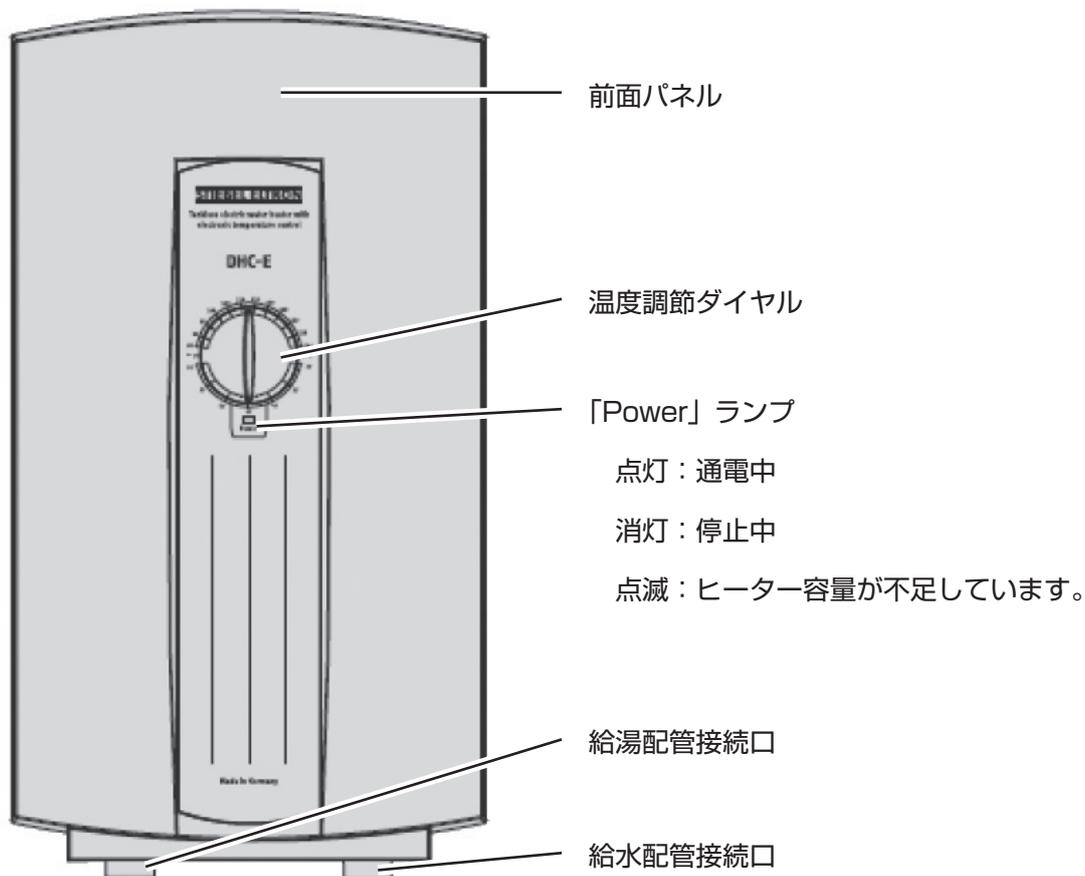
機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。



機器の移設を行なう場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

2. 各部のなまえと機器の特長

2-1. 各部のなまえ



2-2. 機器の特長

DHC-Eシリーズ（以下では、「機器」と記述します。）は、個人住宅や集合住宅、商業施設等で使用できる瞬間式電気温水器です。貯湯タンクを必要とする貯湯式電気温水器等と異なり、大容量の貯湯タンクを置くスペースが不要で、必要な時に必要な量の温水を利用できます。また、貯湯のための保温による電力消費が無い省電力機器です。

3. 運転のしかた

3-1. 機器を使用する前に

- ①給水の元栓を「開」にします。
- ②機器のブレーカが「切」(OFF)の状態、機器が接続してあるお湯側の蛇口を、60秒以上気泡が消えるまで開いて水を流します。

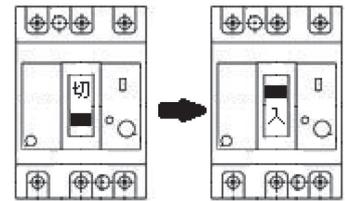
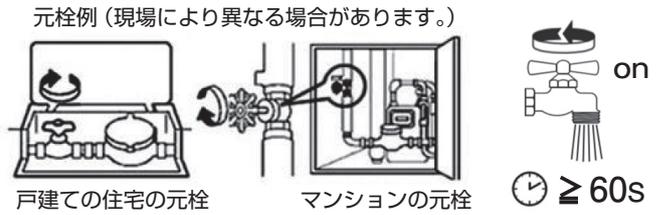
おねがい

- 給水の元栓を「閉」にした場合や、断水等、機器への給水が一時的に停止した後は、必ず②項を実施してください。

- ③機器のブレーカを「入」(ON)にします。

MEMO

- 機器のブレーカの設置場所等は、施工業者にご確認ください。



専用ブレーカ：例

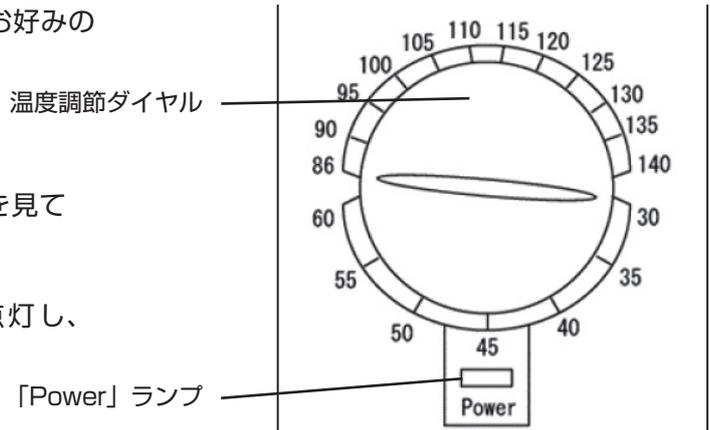
3-2. 機器の操作方法

- ①3-1項の作業を行なった後、温度調節ダイヤルをお好みの温度に設定します。

MEMO

- 上段は華氏、下段は摂氏です。下段の摂氏の温度を見て設定します。

- ②水栓のお湯側を開けると、「Power」ランプが点灯し、機器で設定した温度の温水が出てきます。



MEMO

- 下記のような混合水栓の場合、設定した温度の温水を出すには、お湯のみが出るように水栓を操作してください。

2ハンドル式水栓の場合	シングルレバー式水栓の場合

3-3. 長期間使用しない場合

- ①機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にします。
- ②機器への給水の元栓を閉じます。
- ③水栓のお湯側を開き、水が止まるのを確認します。
- ④③の作業後水栓のお湯側を閉じます。

4. 日常の点検とお手入れ

機器寿命は、お使いの水質とご使用方法に左右されます。機器のメンテナンスは特に不要ですが、水栓の吐水口を掃除し異物や汚れがあれば取り除いてください。

外装をお手入れする場合は、下記に注意して乾いた布で拭きます。薬品やクレンザー等は使用しないでください。

おねがい

- ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロン製のたわし等の使用は、機器を傷めますので絶対にやめてください。
- 機器を水で洗わないでください。また水に浸けないでください。

5. 故障かな?と思ったら

下記の現象が見られる場合、はじめに専用ブレーカを「切」(OFF)にし、再度専用ブレーカを「入」(ON)にし、確認項目について処置内容を実施してください。

現象	確認項目	処置内容	参照ページ
お湯が出ない。	専用ブレーカの「入」(ON)、「切」(OFF)	専用ブレーカをすべて「入」(ON)にしてください。	P.4 3-1
	給水の元栓	給水の元栓を開きます。	—————
	水栓の吐水口	水栓の吐水口が詰まっている場合は、清掃してください。	—————
	給水配管の凍結	凍結している場合は、水道工事業者にご相談ください。	—————
お湯の温度が低い。	「Power」ランプの点灯/点滅	「Power」ランプが点灯/点滅しない場合は、水を流す量を増やしてください。	—————
	「Power」ランプの点滅	「Power」ランプが点滅している場合は、流量に対して機器の容量が不足しています。水を流す量を減らしてください。	—————
	温度調節ダイヤル	温度調節ダイヤルをより高い温度に設定してください。	P.4 3-2
お湯の量が少ない。	水栓	水栓の水側を閉じてください。	—————
	給水配管接続口	給水配管接続口内のストレーナーが詰まっている可能性があります。購入先にご相談ください。	—————
濁ったお湯が出る。	断水や水道工事	断水や水道工事直後は、濁ったお湯が出る場合があります。機器がつながっていない水栓で濁りがなくなるまで水を流した後、機器の水栓からも同様に水を流してください。	—————
漏水している。	配管	水道工事業者にご相談ください。	—————
	機器	日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P.6 6

上記の処置後も現象が改善しない場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

(P.6 「6. 点検および修理について」参照)

次の場合は故障ではありません。

現象	原因	参照ページ
「Power」ランプの点滅。	現在の流量に対して、機器のヒーター容量が不足しています。	—————
設定温度と給湯温度が一致しない。	多少の相違が生じますので、異常ではありません。また、機器 — 水栓間の給湯配管の長さにより相違の度合いが異なります。	—————
使用時に機器からお湯を沸かす音がする。	ヒーターでお湯を沸かしている音で異常ではありません。	—————

6. 点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書のP. 5「5. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

TEL: 03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ① 型名 : 銘板ラベルに併記
- ② 製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の具体的内容 : お湯が出ない等の症状、及びご使用条件
- ④ お取付け年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象となりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、水道の配管工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

7. 仕様

型名		DHC-E5	DHC-E6
電源		単相 200V 50/60Hz	
ヒーター容量 (kW)		5.0	6.7
定格電流値 (A)		25.0	33.5
ブレーカ容量 (A)		40	50
最大給水温度 (°C)		55.0	
質量 (kg)		2.7	
最小流量 (ℓ/min)		2.0	
機器内水量 (ℓ)		0.5	
最大給水圧力 (MPa)		1.0	
給湯/給水配管接続口サイズ		1/2 "NPT	
保護等級		IP24	
号数 ※		2.9	3.8
外形寸法	幅 (mm)	200	
	高さ (mm)	360	
	奥行 (mm)	110	

※号数とは、給水温度+25°Cに温めたお湯を1分間に何リットル供給できるかを表示しています。
単位 (ℓ/25°C min)

給水温度と設定温度に対する流量

設定温度 (°C)	型名	給水温度 (°C)						
		10	15	20	25	30	35	40
40	DHC-E5	2.3	2.8	3.5	4.7	7.1	14.2	—
	DHC-E6	3.1	3.8	4.7	6.3	9.5	19.0	—
50	DHC-E5	—	2.0	2.3	2.8	3.5	4.7	7.1
	DHC-E6	2.3	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.5
60	DHC-E5	—	—	—	2.0	2.3	2.8	3.5
	DHC-E6	—	2.1	2.3	2.7	3.1	3.8	4.7

単位 (ℓ/min)

STIEBEL ELTRON

DHC-Eシリーズ 取付説明書

- 型 名……● DHC-E5
● DHC-E6

取付工事店様へ

- この機器は、電気工事、水道配管工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP. 9「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  屋外や湿気が多い場所、浴室内には設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。
-  機器は凍結の危険がある場所には設置しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器の試運転中、試運転直後は、給湯配管が熱くなっていますので触らないでください。
-  機器は不燃材以外の壁に設置しないでください。
-  機器の近くで、油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。
-  全ての端子台のネジは必ず増締めし、増締めを行なわないまま、引き渡さないでください。
-  電気工事、及び配管工事は、資格を持った作業員以外には行なわないでください。

注意



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。



電源ケーブルを機器内部で弛ませないでください。

指示



アースは第三種接地工事 (D種接地) を行なってください。



鉄等の導電性の高い物質に機器を固定する場合は、機器を固定する架台にも接地工事をしてください。



漏電遮断機が働いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル (株) にお問い合わせください。



専用の漏電ブレーカを必ず設置してください。



電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。



屋内配線は、電源仕様、定格電流、及び消費電力を左面パネル下部の銘板ラベルで確認して、必ず内線規程に従って配線を行なってください。



ジョイントボックスは、機器の側面から100mm以上離して設置してください。



端子台の配線と、前面パネル裏面の結線図ラベルの配線が一致していることを確認してください。



コネクタ類が抜けたり、緩んだりしていないことを確認してください。



機器は、適切な壁補強がされた、壁面に固定してください。



床面に防水処理を施してください。



凍結する恐れのある配管等は、凍結防止用ヒーターを使用する、保温材を巻く等の凍結防止処理を行なってください。



機器は、給水／給湯管接続口を下方に向けて、機器の満水時の質量に耐えられる補強を行なった壁に対して平行に設置してください。



機器を正常に動作させるために離隔距離を守ってご使用ください。

	前面	上面	左面	右面	下面
離隔距離	500mm以上	130mm以上	130mm以上	130mm以上	150mm以上



設置地域の火災予防条例に即した離隔距離をとってください。



機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

注意

禁止

-  設置前の機器は、雨水が当たる場所や、雪上、氷上に置かないでください。
-  機器に接続してある配管や電気部品を外したりしないでください。
また、機器の電気部品（交換用電気部品）を他の電気機器に接続しないでください。
-  給水／給湯管接続口に衝撃を加えないようにしてください。
-  機器の上に物を置いたり、寝転がったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
-  基板上的コネクタの位置を変更しないでください。
-  給水の元栓を止めた状態では機器のブレーカを「入」（ON）にしないでください。

指示

-  給水配管接続は、銅管、PEXチューブ、ブレードホースを使用してください。
-  水の凍結が予想される場所では、凍結防止処理を施してください。
-  給湯配管接続口と、給水配管接続口が必ず下方に向けた状態で、壁に対して平行に設置してください。
-  給水配管には、必ず専用の止水栓、減圧弁、及び逆止弁を接続してください。
-  給湯配管距離は、最長で6m以内としてください。
-  給水温度は、55℃までの範囲にしてください。
-  自動水栓等を使用する場合は、機器の最低流量を十分に確保するように給水してください。
-  給湯配管、給水配管には、銅管、PEXチューブ、ブレードホースを使用してください。
-  機器の設置位置周辺に200Vの屋内配線を引き、ジョイントボックス、またはコンセントボックスで機器の電源ケーブルと接続できるようにしてください。
-  表示部基板に差し込まれているリード付コネクタを基板の「A1」の差し込み部に差し込んでください。
-  設置作業後は、異物が混入しないように前面パネルを取り付けてください。
-  クロス貼りの際は、機器にノリが付着しないように前面パネルの上からもしっかりと養生を行なってください。
-  必ず試運転を行なってからお客様に商品を引き渡してください。



検査記録表 (P. 15 「6. 試運転の手順」) に試運転時の検査記録を必ず記入してください。



取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必須事項を記入し、お取扱い店、及び取扱責任者印を捺印してください。

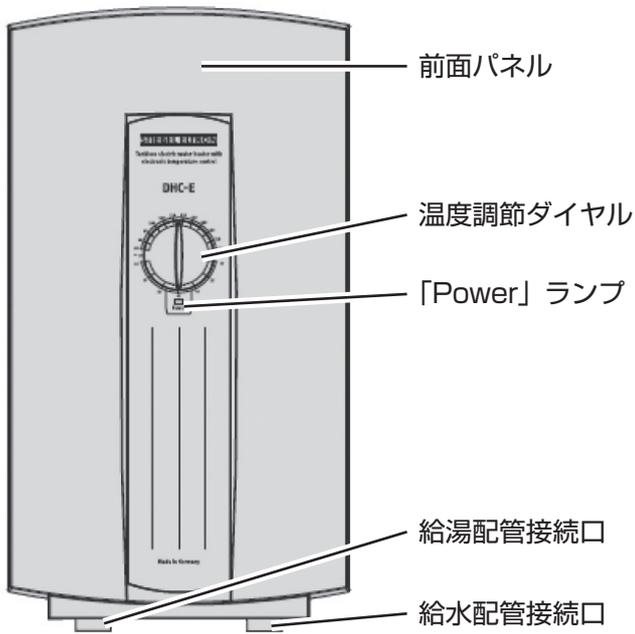


工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。



取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようお願いしてください。

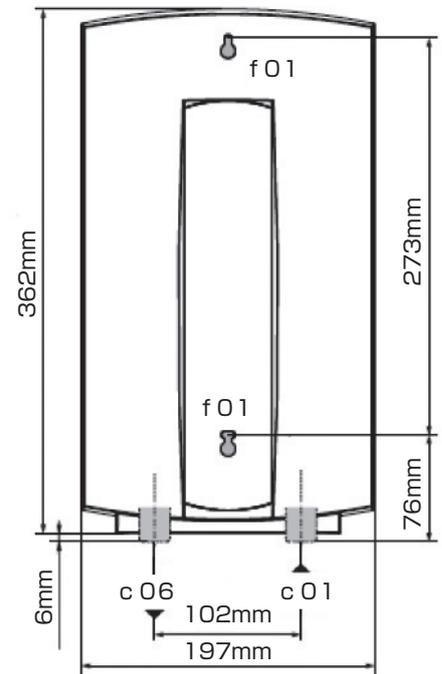
2. 各部のなまえ



正面図



左面図



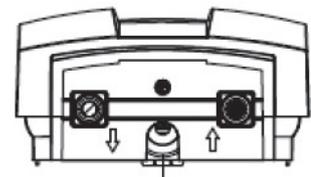
前面透視図

b01 : 電源ケーブル引込口

c01 : 給水配管接続口 (1/2 "NPT)

c06 : 給湯配管接続口 (1/2 "NPT)

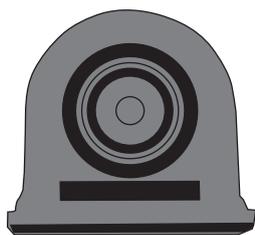
f01 : 壁固定用穴 (2ヶ所)



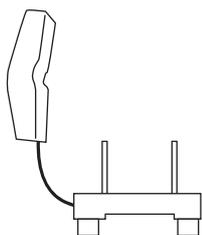
b01 下面図

3. 部品の確認

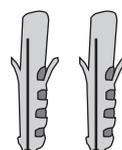
①以下の部品があることを確かめてください。



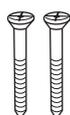
グロメット…1ヶ



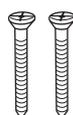
ケーブルクランプ…1ヶ



カールプラグ…2ヶ



本体固定ネジ…2ヶ



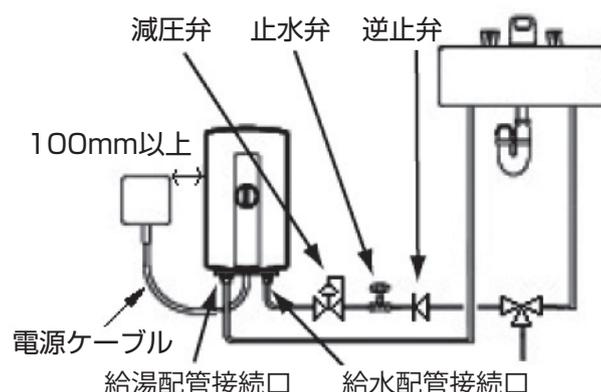
ケーブルクランプ固定ネジ…2ヶ



型紙…1枚

4. 機器設置前の準備

- ①機器設置位置の壁が、機器の質量に耐える補強がしてあることを確認します。
- ②機器設置位置の右下に接続端が1/2" NPT (メス) の給水配管、左下に接続端が1/2" NPT (メス) の給湯配管を配管してあることを確認します。
- ③給水側の水圧が10barを超える場合は、必ず給水配管接続口の手前に減圧弁を接続します。
- ④給水配管に機器側から止水弁、逆止弁が設置してあることを確認します。



MEMO

●機器には貯湯タンクが無いいため、逃し弁は不要です。

⑤機器の専用ブレーカの容量と、電線太さが下表を満たすものであることを確認します。

型名	ブレーカ容量	電線太さ	
		VV	CV
DHC-E5	40A	3.2mm (30m)	3.5mm ² (13m)
DHC-E6	50A	14mm ² (41m)	5.5mm ² (16m)

電線太さの () 内の数値は、電圧降下2%のときの電線こう長を示しています。

MEMO

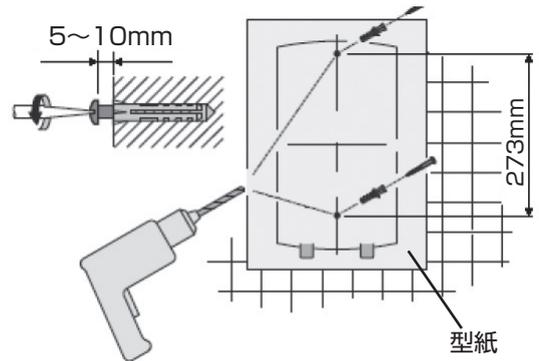
- 上記ブレーカ容量は、機器単独で使用する場合の容量です。他の電気機器との併用は考慮しないでください。
- ブレーカ容量と電線太さは、内線規程、及びその製造元の許容電流等を確認の上、準備してください。

⑥ジョイントボックスが、機器の左右から100mm以上離れた位置に設置されていること、機器の下部には設置されていないことを確認します。

5. 機器の設置

5-1. 機器の固定

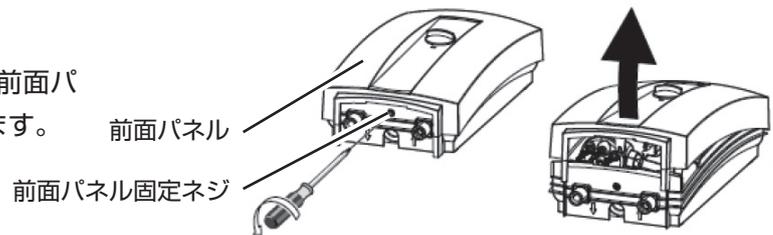
- ① 機器設置位置に型紙を貼り、壁固定位置2ヶ所にネジ穴を開け、本体固定ネジの頭が壁から5~10mm出るように締めます。



MEMO

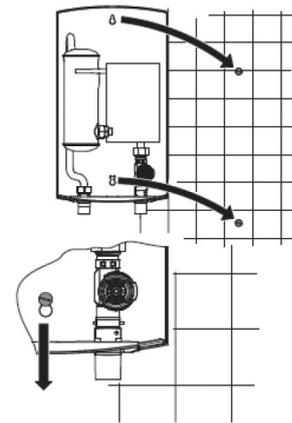
- コンクリート壁等には付属のカールプラグと本体固定ネジ、または別途機器の質量に耐えられる固定金具を使用してください。

- ② 機器下部のネジをプラスドライバーで外し、前面パネル下部を手前に引いて、前面パネルを外します。

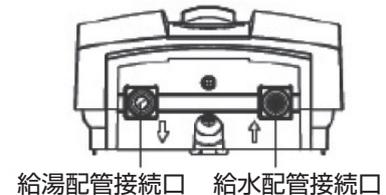


- ③ 機器の壁固定用穴2ヶ所の大きい穴を①で壁に締め付けたネジに引掛けます。

- ④ 機器の上下面が床に対して水平であることを確認してから、機器を下にずらして機器を固定します。



- ⑤ 給湯配管接続口 (1/2 "NPT) に給湯配管、給水配管接続口 (1/2" NPT) に給水配管をそれぞれ接続します。

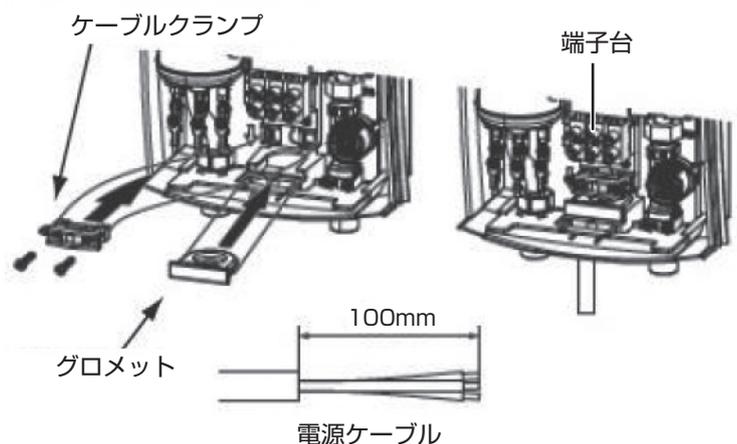


5-2. 配線の接続

- ① ケーブルクランプを機器のケーブルクランプ固定位置に差し込みます。

- ② グロメットのケーブルが通る位置に切込みを入れて、機器のグロメット固定位置に差し込みます。

- ③ 電源ケーブルのシースを右図のように100mm剥き、電源ケーブルを機器下部から引き込みます。

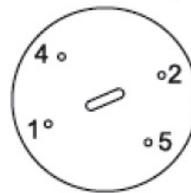
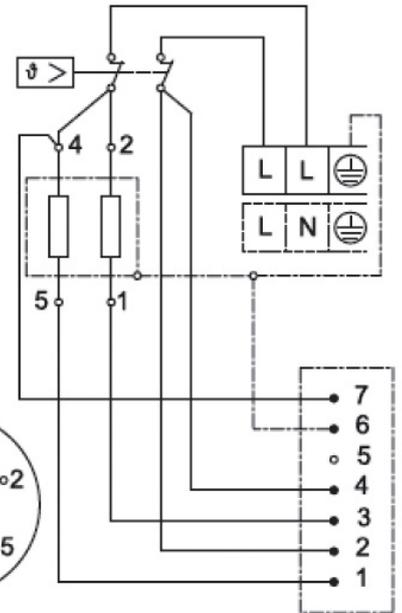
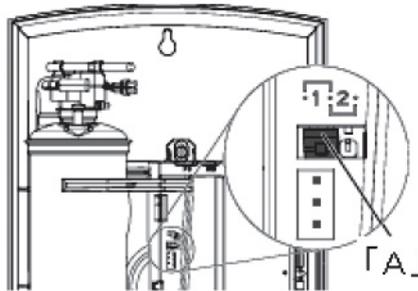


- ④ 電源ケーブルの絶縁被覆を約15mm剥き、端子台の「L」、「N」にマイナスドライバーで接続します。

- ⑤アース線を同様に、端子台のアース (GND) に接続します。
- ⑥ケーブルクランプ固定ネジで電源ケーブルとアース線を固定し、端子台の1次側と2次側の端子を増締めします。

- ⑦機器の基板上的「A」のコネクタの接続位置が、下記であることを確認します。

型名	接続位置
DHC-E5	「1」
DHC-E6	「2」

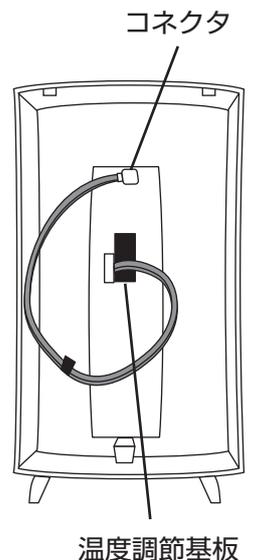
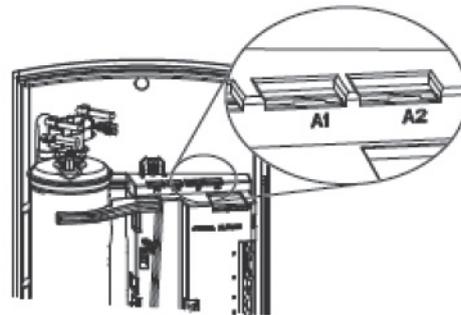


MEMO

- 銘板ラベルの型名と接続位置が一致していることを確認します。
- ⑧前面パネル裏側の温度調節基板に接続してあるコネクタを、手前に配線が見えるように差し込みます。

MEMO

- 「A1」は、給湯温度が60℃まで、設定可能です。
- 給湯温度を「43℃」までに制限したい場合は、「A2」に差し込みます。



- ⑨前面パネルを元の位置に固定し、前面パネル下部のネジをプラスドライバーで固定します。

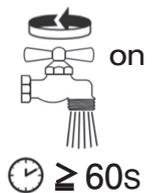
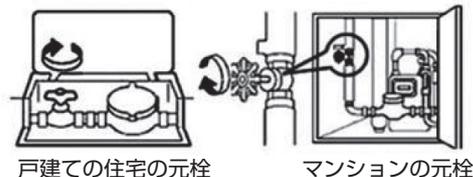
6. 試運転の手順

(1) 試運転の手順

お客様への引き渡し前に必ず試運転を行なってください。
試運転後は、必ず検査記録、保証書、及び保証書(写)に必要事項を記入してください。

- ①給水の元栓を「開」にします。
- ②機器のブレーカが「切」(OFF)の状態、機器が接続してあるお湯側の蛇口を、60秒以上気泡が消えるまで開いて水を流します。

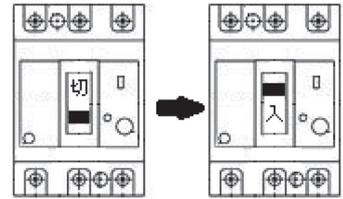
元栓例 (現場により異なる場合があります。)



MEMO

- 給水の元栓を「閉」にした場合等は、必ず②項を実施して、機器内部が満水であることを確認してください。

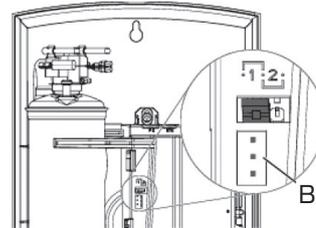
- ③給湯配管接続口、給水配管接続口や機器から水が漏れないことを確認します。
- ④前面パネルを開けて、機器の端子台の電源ケーブルとアース間で絶縁抵抗が1MΩ以上あることを確認します。
- ⑤専用ブレーカを「入」(ON)にして機器に電気を供給してください。
- ⑥水栓のお湯側を開き、「Power」ランプが点灯すること、吐水口からお湯が出ることを確認します。



MEMO

- 機器への給水流量は2.0ℓ/min以上で試運転してください。
- ⑦右図において基板上のランプBは、下表の状態を示します。

基板上のランプ	状態
赤点灯	エラーが発生しています。
黄点灯	ヒーターに通電しています。
緑点滅	機器に電源がきています。



- ⑧試運転終了後、前面パネルを閉じます。
- ⑨専用ブレーカを「切」(OFF)にします。
- ⑩機器の止水栓を閉じて、水栓のお湯側を開き水抜きした後、水栓のお湯側を閉じます。

(2) 電流値と抵抗値表

型名	電圧 (V)	総消費電力 (kW)	单相電流値 (A)	ヒーター単体の抵抗値 (Ω)
DHC-E5	200	5.0	25.0	11.5
DHC-E6		6.7	33.5	11.5

許容差：±10%

MEMO

- DHC-Eシリーズは通電した場合に、独自の制御機能により必ずしも最大電流値を流す訳ではありません。試運転の際に最大電流値を検知できなくても異常ではありません。

(3) 絶縁抵抗

電気用品安全法に基づく技術基準により、機器の絶縁抵抗は1MΩ以上とされております。漏電ブレーカが即時に作動する場合は、配線、または漏電ブレーカ等に問題がある可能性があります。日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

(4) 検査記録

お客様名			
検査会社名			
検査日/検査者名			
検査項目	検査結果	摘要	参照ページ
絶縁抵抗		絶縁抵抗値を記載	P. 16. 6. (3)
ブレーカの定格		ブレーカの定格	P. 15. 6. (1)
ヒーターの電流値		電流値を記載	P. 16. 6. (2)
機器の離隔距離の確保		チェックのみ	P. 10
壁の補強とボックスの位置		チェックのみ	P. 13. 4
機器の壁固定/水平設置		チェックのみ	P. 14. 5-1
機器の外観		チェックのみ	-
備考			

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取り付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		型名	DHC-E5		
	お名前			DHC-E6		
お取扱い店	社名	取扱者	製造番号	— —		
	〒	印		保証期間	製品	お取り付け日から1年
	住所	印				
お取り付け日	電話 ()	—				
	年	月	日			

機器はお取り付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取り付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。「お取り付け日」の記載がない場合、日本スティーベル(株)の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取り付け日」として起算します。
- ご転居等、お取り付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取り付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取り付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス害等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外（例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等



STIEBEL ELTRON

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明書、仕様図のダウンロード



日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階
TEL:03-5715-4655
(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください